



自分の進路をよく考え、自分で決める

夢ナビとテレメールの9つの接点で 自ら選択肢を作り、自己決定するプロセスをサポート

中・長期の進路指導の取り組みを系統立て、生徒の個性を大切に「学びたい学問の発見」「探究したいテーマの発見」「社会貢献の意識の醸成」「学びへの明確な目標設定」「大学選択基準の形成」をサポートします。

「自ら学ぶ意欲」「ポジティブな進路観」を形成する4つの欲求を夢ナビが満たし、育てる。

- 知的好奇心の欲求「もっと知りたい!」
- 有能さへの欲求「私にもできるかも!」
- 向社会的欲求「人に社会に貢献したい!」
- 自己実現の欲求「自分の個性を活かしたい!」



1年生 2年生 3年生

1 興味・関心を起点とした理系・文系の学問の魅力の発見 P16

- 生徒の課題** 大学の学びについて、イメージすることが難しい。自身の興味・関心と関連付けることが難しい。
- 解決** 理系・文系に留まらず、興味・関心の先にある多様な進路の可能性を踏まえた主体的な「文理選択」ができる。



1年生 2年生 3年生

4 大学教授や共通の関心を持つ高校生とZoomでつながる P32

- 生徒の課題** 大学教授や共通の関心を持つ仲間とコミュニケーションをとり、多角的なものの方・考え方を得られる、学校の壁を越えた学習機会が少ない。
- 解決** 興味・関心のあることに関して、それを好きな仲間と学び合い、豊かな発想や新しい価値を発見する体験をする。



1年生 2年生 3年生

7 学びたいことが実現できる学部・学科かを見極める P22

- 生徒の課題** 学びたい学問と大学をマッチングする力、経験や機会が足りない。
- 解決** 多くの大学の情報に触れさせ、その中から選択肢や選択基準を作る。



2 「SDGs×大学教授の研究」で自分にできる社会貢献をイメージする～社会への関心を豊かに広げ、大学進学のために発展させる～ P19

- 生徒の課題** 大学進学とSDGsへの当事者意識醸成の不足。自らの進路や社会との接点を多面的に意識させたい。
- 解決** 自分にできる社会貢献を考えながら、学びたい学問について考えさせる。



5 他者の「変容」「重要な瞬間」を追体験する校内シェア機能による新しい学問研究 P40

- 生徒の課題** 自分の主観的な視点から抜け出すことができない。内なる多様性の欠如が招く自分自身への「偏見」が払しょくできない。
- 解決** 他者の多様な考え方や着眼点を知る機会を通して「自分には見えない視点」を自覚し、自分が夢になれる新しい種を発見する。



8 志望理由書作成の準備～学びたいことを研究テーマまで深める～ P23

- 生徒の課題** 自分なりの切り口が足りない。学びたいことの解像度と独自性を高めたり、突き詰める必要がある。
- 解決** 学ぶことへの自分なりの理由を作り、学びを通して社会にどう関わるかを見いださせる。



3 探究の原動力となる個に応じた「課題設定」「テーマ設定」をサポート P30

- 生徒の課題** 何が自分にとっての関心や疑問であるか、掘り下げることができていない。自らの進路や社会との接点が意識されていない。
- 解決** 自分自身の内面や潜在意識と向き合い、「本当の関心」と出会わせる。



6 自身の進路に関して「どのような目的で何をどう学ぶか」自らの学習を調整する力を育む P31

- 生徒の課題** 受動的な姿勢や思考ではなく、学びの方法や目標を自ら決めて、試行錯誤していく進路学習の場面・機会が少ない。
- 解決** 自分自身で学習目標を立て、進路に関する学習過程に能動的に関与することで、より深い理解や主体性が育つことも期待できる。



9 貴校専用学校BOXによる異学年間での学問研究のシェア～上級生の真剣な「学びたい」思いが下級生の「理系・文系の学問体験」になる～ P44

- 生徒の課題** 身近な進路選択の「理系・文系の学問体験」として上級生が認識している理系・文系の学びの魅力、真剣な学びたい思いを共有する機会が少ない。
- 解決** 上級生との関わりの中で自らの学習を望ましい方向に向かわせていくことで、多様な進路の可能性や新たな価値観を育む。

